

ほけんだより12月

湯河原小学校 No.9
2020.12.14

新型コロナウイルス感染症感染者数が日に日に増えています。
それに伴い、高齢者の重症患者数も増えているという報道も毎日されています。
冬休みは外出することも多くなります。「三密」に気をつけて生活してください。

換気をどうする？ ～寒くない服装で授業を受けましょう～

12月3日に文部科学省から新型コロナウイルス感染症対策「新しい学校生活様式 Ver.5」が出されました。冬の感染症対策です。

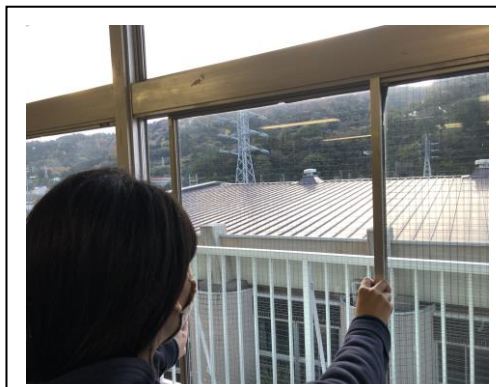
冬は窓を開けると冷気が入り込むため、夏とは違い「密閉」の環境になりがちです。文科省では「気候上可能な限りの常時換気」を勧めています。

学校はまた、新しい学校生活の新たな問題にぶつかりました。「常時換気していると、窓際の席の人は常に冷気に当たるようになってしまい体調を崩してしまうのではないか」ということが心配されたからです。

先生方でいろいろ考えた末、「校舎内に空気の流れを作る」ようにしました。
その方法は、

- ①廊下の窓と教室のドアを20cm程度開ける。
- ②教室の後ろの窓を20cm程度開け、直接冷気が入る所のカーテンを閉める。
- ③教室と廊下の境の天窓を20cm程度開ける。
- ④隣りに人のいない学習室の窓と教室のドアを開けて、少し暖まった状態の新鮮な空気を教室に取り入れる。(二段階換気)
- ⑤寒さに弱い人は暖かい服装を着用する。

この5つを組み合わせ、休み時間の換気と合わせて、コロナ禍の感染症対策の一つである換気対策をすすめていきます。



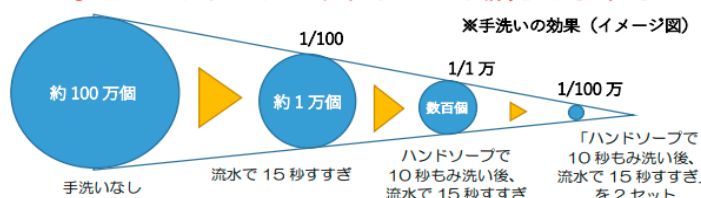
せっけんでてあをあらってね

最近水が冷たくなってきました。それと同時に手洗いも「石けんを使わずに水でちょっと濡らすだけ」「手洗いせずに、アルコール消毒だけ」といったことが多く見られます。

感染症予防の基本は手洗いだということはわかってはいるものの、水の冷たさに負けてしまうようです。

そこで学級で再度手洗いの指導をしています。毎日の「手洗いの歌」の放送でも呼びかけながら、感染症が多くなる冬の時期を乗り切りたいと思います。【文科省 HP より】

水とハンドソープで、ウイルスは減らせます！



冬になって寒さが増し、空気も乾燥しています。

「手がカサカサで給食前の手洗い後の消毒液がしみる」という人は、アルコール消毒液を使わなくてもよいです。石けんを泡立てた手洗いをしっかりやってみましょう。



冬休みも検温など

健康観察をお願いします。

夏休みと同じように、冬休みも毎日検温や体調チェックをお願いします。

「冬休みの健康観察カード」は冬休み前に配付します。

1月8日(金)に学校に持ってきてください。